

<http://www.japanplatform.org/we/index.html>

平成19年度グローバルに活躍できる「広島っ子」育成事業

広島観音高等学校で「世界とのふれあい講座」を実施



〔実施概要〕

日時：2007（平成19）年10月 3日（水）14：30 ～ 16：00

場所：広島市西区南観音町（校長：山廣康子）

<http://www.kanon-h.hiroshima-c.ed.jp/>

対象：1・3学年（約600名）ほか教職員、一般

講師：鶴飼 卓氏[理事長]、中田敬司氏[理事]

（(特活)災害人道医療支援会【Huma】）

〔テーマ〕

国際協力活動の現場からの声

〔内容〕

国際災害救援医療活動を始めとし、日本国際緊急援助隊救急医療チーム JMTDR 設立の経緯や活動の教訓、政府組織（GO）と非政府組織（NGO）との違い、平和の架け橋としての国際協力について講演された。緊急災害時での現場は救援ラッシュの半面、徐々に世界の目は忘却・無関心となるため資金調達・人材不足に陥り、政治に翻弄され易いジレンマを抱えている。なぜ国際人道支援かとの問いに対し、活動の原点は人間の安全保障、生存権の保障のため、国際平和への貢献に寄与するため...「Health as Bridge for Peace!」。最後にJMTDRから現場を受け継いだ HuMAの支援活動について話された。

〔講師プロフィール〕

・鶴飼 卓氏

1938年生まれ、横浜市出身。大阪大学医学部卒業、79年カンボジア難民キャンプで従事し帰国後、外務省などに働きかけて日本国際緊急援助隊救急医療チーム JMTDR を設立し運営にも深く関与。84年のJMTDR第1回海外派遣（エチオピア）第一陣団長を務める。

2002年6月(特活)災害人道医療支援会【Huma】を設立し現職。大阪市立総合医療センター副院長兼救命救急センター長、兵庫県立西宮病院名誉院長、兵庫県災害医療センター顧問などを歴任。

・中田敬司氏

1959年生まれ、愛媛県西条市出身。広島工業大学卒業、広島市消防局にて広島市航空消防救助隊員・国際消防救助隊員 IRT - JF/JDR救助チーム登録、(財)広島市防災センター指導課勤務を経て退職独立。防災・救急・安全のコンサルタント及び講演活動の傍ら、東亜大・岡山大・香川大など大学にて講義。

また現職の傍ら、JMTDRとして数多く被災地に赴き、現在JMTDRでは研修検討委員会ロジスティクスグループリーダー、厚生労働省所管の災害派遣医療チーム DMAT インストラクターを務める。

〔所属組織の紹介〕

国内外で起こる災害に対して医師、看護師、調整員らを派遣し、緊急支援活動を行い、一方国内では、医療機関、教育機関、行政、企業などの災害対策に関する受託事業、災害研修の開催、講師派遣を行っている。また災害医学研究、出版、国際保健医療協力活動を進めている。日本国際緊急援助隊救急医療チーム JMTDR の主たるものたちが、過去の経験を生かして国内外の災害被災者の医療支援に少しでも役に立てればと願い、2002年6月NPO法人として設立。

<http://www.huma.or.jp>

〔講師コメント〕

・鶴飼 卓氏

広島観音高校で国際医療協力の現場のお話をさせていただく機会を与えられて、とても嬉しく思いました。観音高校の皆さんが非常に礼儀正しく、静かに講演に聞き入ってくれたことにも感動しました。いろいろなことがありますが、一回しかない人生の一日一日を心豊かに過ごすことができればいいですね。

・中田敬司氏

私たちの国際医療協力活動も特別なことをしてるのではなく自らの志にしたがって日々をなんとか頑張っているだけなのです。「人生二度なし」今回熱心にご聴講いただいた観音高校の皆さんの将来にお役にたてたら大変うれしく思います。